

# CLOSE TO YOU

-ニュースレター版-  
2018年11・12・2019年1月号/No.24

**主**の御名を賛美します。今年は例年より花粉の量が多いと話題になっていますが…皆さんは元気に過ごされていますか？私は、止まらないくしゃみと鼻水、喉の痛み、咳…これは風邪なのか？花粉症なのか？よくわからない症状がここ2週間ほど続いています。

先日、あまりにも花粉飛散量が多いのを察知し（朝起きた瞬間にわかります）、久しぶりにコインランドリーを利用しに行きました。

## 愛知県の花粉飛散情報 2019

今日の花粉飛散情報



15:00現在の飛散量



◀道産子の私…本州に住むまで存在すら知りませんでした。この時期になると「天気予報」の他に「花粉飛散情報」が発表されます。花粉の飛ぶ量が多いか少ないか…この情報を元に「この日は洗濯物を干すと危険だ」「この日ならまだ大丈夫そうだな」と予測して洗濯日を決めます。見ての通り、現在の愛知県は毎日真っ赤（非常に多い）です…。

◀飛散情報を元に何とか洗濯物を干せていたのですが、3月上旬は「危険な日」がかなり続き…。(涙)濡れた洗濯物には花粉がつきやすく、余計症状が悪化するのも嫌だったので、泣く泣く乾燥機を付けてコインランドリーに出向くことに。(でもどうせなら…とちょっとオシャレなところに行きました◎)

◀どこがオシャレなのかという…私が先日利用したのはコインランドリー併設カフェ!!乾燥機にかけてる時間、隣のカフェでおいしい思いをしている間に洗濯物が乾いていました!時間を無駄にさせない超便利なシステム👏

花粉症（なのか不明ですが…）もだいぶ落ち着いてきたので、今は諦めてまた外に干していますが^^;良い気分転換になりました☆

2018年度もあとわずか…私たちの教会は毎年3月最終日曜日に教会総会があるので、今は総会資料の準備に追われています。振り返る作業を通して与えられた恵みをおぼえつつ、そして新たに始まる2019年度にも期待して備えたいと思います^^

## -11月の主なはたらき-

- 11/11 ユース礼拝メッセージ
  - 11/18 ポキポキパーティー、ツリー点灯式 ☆
  - 11/22-23 NSD II 参加 ☆
  - 11/25 映画撮影開始 ☆
- ☆印のみ報告します。

**か**なり前に遡ってしまいましたが…11月の合同礼拝（イベント）は「ポキポキパーティー」を行いました☆



◀イベントでのゲーム司会は、ユースメンバーがやってくれました。この日は「ポッキーの日」に因んでポッキーじゃんけん。二人一組になって行うポーズじゃんけんで、この二人と同じだと負けです😅

◀今回のテーマはポッキーのあのフォームから「まっすぐ」に設定。神様は変わらないお方であること、まっすぐ私たちを見つめ続けてくださっていることをみことばから学びました。

◀こちらは礼拝後に行ったゲームの様子。その名も「まっすぐキャッチ!」まっすぐなもの（パスタの麺、ネギ、きゅうりなど…）を上から落とすとしてキャッチできたら景品がもらえます。盛り上がりました笑

◀この日大活躍だったユースメンバー。奏楽、司会、ダンス…見える奉仕だけでなく、おともだちのフォロー、雰囲気作り…あらゆるところで賜物を発揮してくれました。

◀写真をどれだけ探しても出て来ませんでした(涙)この日はクリスマスツリーの点灯式も行いました。後で聞きましたが、点灯式に参加したくて来られた方もいたとか…教会にクリスマスツリーが与えられ、感謝です!

クリスマスに繋がたい、という思いがある中で企画したイベント。全体で32名の参加でした!

written by manyamo

11月22日～23日まで、NSD II（日本青年伝道会議 II）に参加してきました！



◀NSD IIは、日本福音同盟（JEA）青年委員会が主催する教団・教派を超えたクリスチャンが集う集会です。「青年伝道会議」なので、青年世代の伝道に対して想いがある教職の先生や、今まさに青年世代を生きている若者たちと共に日本の若者宣教の実態とこれからについて考えました。メッセージだけではなく証しを聞く機会もあり、とても励まされました。

「神の国マインドに生きる」というテーマが進められた今回の青年伝道会議。イエス様が宣教を始められた「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」（マルコ1:15）のみことばに立ち返り「なぜ私たちは伝道するのか？」「クリスチャンとして生きる意味とは何か？」信仰の根本的な部分を問われる時間となりました。



私が読むたびにドキッと  
する聖書箇所のひとつに「マルタとマリヤ」の記事があります。（ルカ10:38-42）イエス様を家に招いて、もてなしたい一心で懸命に働く姉マルタと、イエス様の

足もとに座ってみことばに聞き入っている妹マリヤ…何も手伝おうとしない妹に腹を立てたマルタに対して、イエス様は「どうしても必要なことはひとつだけです」と諭します。私の想像ですが、マルタは色んなことによく気づき、行動力もあり、仕事のできる人だったのでは…と思います。だからこそ円滑に、スムーズに事を運ばせたい…イエス様を自分が思う最大級のもてなしをして歓迎したい…そんなマルタの一生懸命な気持ち、私はとても良く理解できます。しかしイエス様は「どうしても必要なことはひとつだけだ」と言いました。円滑に、スムーズに、テキパキと事を進ませる以上に大切なこと…それはみことばに「聴く」姿勢であると、そこに一番の価値があるのだと…この箇所を読むたびいつもハッとさせられます。

神様は何でもできる方です。しかし、神様おひとりがすべてを担い、円滑に、スムーズに、効率よく宣教を進めるのではなく、あえて生身の人間を通して伝えていくこと、神の国を広げていくことを良しとされました。

クリスチャンとしての使命を持って生きるのは素晴らしいことです。でも一生懸命その使命に生きようとするあまり、自分の力でそれを全うしようとしたり、また勝手に落ち込んだり、マルタのように根拠を見失ってしまうことが…私にもあります。しかし、それを成すのは、私ではなくあくまでも神様であり、どんなにかっこ悪くても、失敗しても、その欠けに神様の栄光が現れていくということ。それ故に私たち



はいつも「その時」の精一杯を捧げ続けていく…それが神の国マインドに生きるということなんだ、と改めて気付かされる2日間でした。

2018年のクリスマスは、ユースメンバーが初めてオリジナル映画制作にチャレンジしました！



◀ここ最近TCU人形劇サークルからキットを一式貸し出してもらい、それを練習して上演するのが恒例になっていましたが、今年は自分たちで映画を作ってみよう！という話になり、教会屈指の脚本家 Y兄に脚本・監督をお願いしました。

今までの人形劇は、台本が既に出来上がっていて、それに沿って練習を重ねて本番に臨む…というスタイルでしたが、今回はY兄が普段のユースの雰囲気を感じて書き下ろしてくれた完全オリジナル作品。それ故に配役も今までとは違う意味でのプレッシャーを感じたり、初めての映画制作に「どんな感じになるんだろう？」と不安もありましたが…いざ始まるとみんな自分たちの賜物と個性を大いに発揮して、楽しく映画撮影ができました♪



出来上がった作品とは別に、制作に携わったからこそ体験したドラマもあったりして…。（笑）ひとつ壁を越えた事でユースの団結力もより一層UPしたように思います^^



なお、出来上がった映画は教会HPとFacebookにリンクが貼ってありますのでぜひご覧ください！！

written by manyamo

## -12月の主なはたらき-

- 12/9 ユースイベント ☆
  - 12/16 Jキッズ・ユース合同礼拝/長いものBINGO ☆
  - 12/23 クリスマス祝会
  - 12/24 クリスマスイブ賛美礼拝
- ☆印のみ報告します。

**12**月9日には、クリスマスユースイベントを行いました！



◀毎年、クリスマスに向けて様々なイベントを企画しますが今年もユース単体のイベントを計画。「トランポリンがやりたい！」というリクエストから教会の近くにあるトランポリンハウスに行ってきました🙌

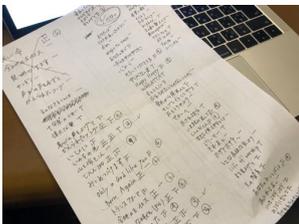


◀知らないうちに撮られてた1枚…。施設内にはスポンジプールもあり、私は終始そこに潜り込んで写真を撮っていました。最近では教会の子どもたちに「盗撮カメラマン」と呼ばれています😅



◀夕食は「激辛鍋が食べたい！」との声から思いっきり辛い「赤から」の5番を用意。この鍋を食べた中学生男子二人が夜中にトイレに駆け込んだようです…。(大人は大丈夫でした◎)

普段のイベントでも毎回テーマを決めてきたので…このユースイベントでは「クリスマスを祝う」「1年を振り返る」この二つのテーマを軸にプログラムを企画しました。



◀「賛美集会をやりたい！」という声と「1年を振り返る」というテーマを掛け合わせた結果、2018年にユース礼拝で歌った賛美ベスト10を発表して賛美集会をすることに。この紙には集計の頑張りが詰まっています。笑



◀もうひとつ1年を振り返る企画として2018年のスライドムービーを作り、上映しました。(盗撮カメラマンの出番です) ユースの思い出が詰まったムービーは教会HPとFacebookで絶賛公開中🎬

そして私は、この日のメッセージを担当しました。

この季節になるとどこへ行ってもクリスマス一色になります。色とりどりのイルミネーション、立派なクリスマスツリー、当たり前のように流れるクリスマスソング、店頭に並ぶおいしそうなお馳走たち…。私は、そんな街中の雰囲気は嫌いではありません。しかし、クリスマスの本当の意味を伝えることができるのは教会だけだ…と思っています。

教会ではクリスマス前の4週間を「アドベント」と呼んでいます。クリスマスが近づくに連れて増えていくアドベントキャンドルの灯、必ず開かれるルカの福音書…なぜ毎年(ある側面から見れば)変わり映えなく同じことを繰り返すのか?…それは、同じことを繰り返すほど価値のある、私たちにとって大切なことだからです。そして「何のためにイエス様はこの世に来られたのか?」時間をかけながら、イエス様と自分との関係を確認するひとときでもあると…私は思っています。だから毎年クリスマスをみんなでお祝いするんだよ、というところに辿り着きました。

このメッセージを準備しながら私自身が「イエス様との関係」を問われました。何のためにイベントをするのか、みことばを伝えるのか…アドベントの前にしっかり確認する時間が与えられ、感謝でした。

**翌**週の12月16日にはJキッズ・ユースの合同イベントである「長いものBINGO大会」を行いました！



◀J・ユース共に大好きなゲームのひとつ「島からおちるな」。じゃんけんに負けると乗っている新聞紙を畳み、上に乗れなくなったらアウト。この日の司会はユースの映画から出てきたリサ！



◀久しぶりのシールじゃんけん！勝つと顔にシールを貼られ、最後にシールが一番多かった人が勝ち。でも眼鏡の人は勝ち続けるとこうなります😅 (因みにこの方が映画監督)



◀今回のイベントは「何か長いものが当たる」というBINGO大会。その目玉景品として名古屋では有名なパリジャンというお店のロングケーキを用意しました！全長、なんと50cm!!!! BINGO大会に来てくれた中学生男子たちが見事このロングケーキをGETしていました。私もひとくち食べてみたかったな、笑

written by manyamo

そして、この日のメッセージはユースメンバーで制作したオリジナル映画『ぼくらのねがい』を上映しました。



◀スターキッズに通うシンが「友達にクリスマスプレゼントをしたい」と言いだしみんなで探します。でも、なんか違う…様々な事件を経てたどり着いたのは「友達と一緒にクリスマスをお祝いしたい」という思いでした。

映画を上映した後にヨハネ20:31「これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるためであり、また信じて、イエスの名によっていのちを得るためである。」のみことばを開きました。聖書にはイエス様の誕生、あらゆる奇跡、罪の身代わりとして十字架にかかれたこと、3日目に復活されたこと…色々なことがたくさん記されています。そしてそれらすべては、私たちが希望を持つために書かれたものです。映画の中でシンが見つけたクリスマスプレゼントは、おもちゃではなく「クリスマスと一緒に祝いしたい」という目に見えない思いでした。イエス様もまた目に見えない御方です。しかし、今も生きて働いてくれているからこそ…毎年世界中でクリスマスをお祝いするんだよ、というところに繋がりました。メッセージだけが前に立ってみことばを伝えるのではなく、映画というツールを通してそれぞれが役割を担い、チームで一体となってみことばを伝えることができ感謝でした！

## -1月の主なはたらき-

- 1/1 元旦礼拝
  - 1/1-1/7 帰省 ☆
  - 1/20 ユース礼拝メッセージ
  - 1/27 教会成人式 ☆
- ☆印のみ報告します。

## 教会スタッフとしての働きではありませんが…

お正月は1年ぶりに実家に帰省しました。



◀東京に住んでいる従姉妹の六花も帰省中で、家族みんなで短いながらも楽しい時間を過ごしました。中央にいるのは祖母。そういえば昨年も同じような構図で写真を撮った気がします…。笑



◀1年ぶりに帰省して驚いたこと…。実家を出るまで自分の部屋として使っていた場所に、何やら見慣れないオシャレな本棚が設置されていました。実はこの本棚にはある仕掛けが施されているのですが…皆さんわかりますか？（ヒントは「アンネ・フランク」です）



◀そう、この本棚動くんです！押してみると隣の部屋に繋がる隠し扉になっていて本当に驚きました…。（思わず母に「アンネフランクの隠れ家じゃん！」と言ってしまいました笑）因みにこの隠し扉は建具屋である祖父の手作り。何度もうちに来て細かな調整を試みたようです笑 この写真は祖父が取り付けを確認している図。



◀限られた帰省期間でしたが、高校時代の友達にも会うことができました。どんなに長い間会ってなくても話す内容に困らない貴重な友達です。みんな立派に社会人として働いていました☆

実家に帰ると黙っていてもご飯が出てきて、洗濯もしてくれて、お風呂も沸いていて…居心地が良すぎて名古屋に戻ってくると毎回そのギャップに苦しみます😞が、この年になっても色々な意味で甘えられる場所が与えられていて感謝です。



◀そんな私の2019年の抱負は「聴」この漢字には「心を集中して注意深く聴く」という意味があります。色々な情報が取り巻く中であっても、みことばに「聴く」1年にしたいなと思います。その時々主にあって良い判断ができますように、

## そして1月27日には教会で成人式がありました！



◀該当者はこの2人。いつもイベントやユースの礼拝、分級でそれぞれの賜物を発揮してくれています。二十歳という人生の大事な節目を教会で一緒にお祝いすることができ嬉しかったです☆

特別賛美としてLyraの『帰り道』をみんなで歌って祝福しました。「今日がたとえ涙で終わっても」神様は変わらないこと、どんなことがあっても共にいて励ましてくれること…私も歌いながら励まされました。二人の人生に、これからも神様が関わり続けてくださることを信じ、願っています。

written by manyamo